

通学区域が話し合われます

合併の後、しばらくはそのままの通学区域ですが、今後新しい通学区域について話し合っていくことになります。今のままだと、近くに学校があっても遠い学校に通わなければならないこともあるからです。今のせい度でも、このような場合、保護者の願い出があれば、教育委員会の許可基準にもとづいて、より近い学校に通うことができます。

三重県内の市町村合併の状況は？

<べつの地図を見てください>

「平成の大合併」で、一番早く合併をしたのは「いなべ市」(旧北勢町・旧員弁町・旧大安町・旧藤原町)で、平成15年12月1日にたんじょうしています。

次に「志摩市」、「伊賀市」、「桑名市」、平成17年になってからは「松阪市」、「亀山市」、「四日市市」、「大紀町」、「南伊勢町」、「紀北町」、「熊野市」がたんじょうして、現在、三重県内の市町村の数は、「平成の大合併」前の69から41になっています。

そして、平成18年3月31日には、三重県内の市町村の数は29になる予定です。

私たちの町の移り変わり

今のような「市」や「町」や「村」のせい度がつくられたのは、今から100年以上も前の明治22年のことです。これは「明治の大合併」と言われ、全国におよそ71,000あった町や村の数が、合併によって16,000ほどの市町村になりました。

その次に行われた大きな合併は、昭和28年から36年ごろにかけての「昭和の大合併」です。この大合併の結果、全国の市町村の数は約3,500になり、今の日本の「市」や「町」や「村」のおおよその形になりました。

私たちにできることは？

これまで、市町村合併についていっしょに考えてきました。

市町村合併はいつでもできることになっていますが、平成17年3月31日までに県に合併の申し入れをして、平成18年3月31日までに新しい町(市町村)になれば、国から多くの応えんを受けることができるため、日本中の市町村が急いでいたのです。

これからのまちづくりは、地域のとくちょうを生かして、地域の人たちが「自分たちで考え、自分たちで町をつくっていく」ことになります。

私たちもこの地域でくらす一人として、新しい町がどうあってほしいか、そのためにはどんなことができるかを考え、行動していきましょう。



<作成>

伊勢市合併調整室

伊勢市教育委員会 教育研究所 資料作成委員会

平成17.11.1発行



市町村合併って、なに？

市町村合併というのは、2つ以上の「市」や「町」や「村」がくっついて、ひとつのまちになることを言います。

合併して新しく大きな市町村をつくる場合(新設合併)と、今ある市町村がほかの市町村を吸収して大きくなる場合(編入合併)の2通りがあります。

どこどこが合併したの？

伊勢市、二見町、小俣町、御園村の4市町村が合併し、平成17年11月1日に新しい「伊勢市」になりました。

合併の方式

伊勢市、二見町、小俣町、御園村の4市町村がなくなって、そこに一つの新しい市ができる「新設(対等)合併」という方式です。

新しい市の名前

「伊勢市」です。ただし、これまであった伊勢市ではなく、新しい伊勢市になりました。

新しい市章(市のマーク)

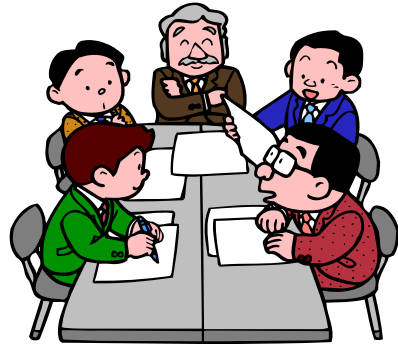


「ISE」の文字をモチーフに、神宮の森や伊勢平野をつつみこむように広がる青空と清流、豊かな伊勢湾を表現しました。中央の「S」で勢いとともに、循環型のまちづくりをあらわしています。

どうして今、^{がっぺい}合併するの？

これから進む「^{ちほうぶんけん}地方分権」に備えて

これまで、おもに国が決めた方針にそってまちづくりが進められてきましたが、それぞれの地域に住む人々の求めるものがいろいろと変化してきて、国が決めた全国どこでも同じやり方では、むだや不都合がでてきました。



そのため、これからは市町村がそこに住む人々の声を聞いて、自分たちで決めて自分たちでまちづくりをしていけるよう、市町村の自主性にまかせられるようになります。

そのためには、市町村がしっかりとした計画を立てたり、法律を整えたり、地域にどんなサービスが必要かをはんだんしたりしていかなければならないので、合併によって市町村の力を強くしようというのです。

「^{いしき}人々の生活や^{たいあう}意識の変化」に対応するため（^{じゅうみんいしき}住民意識の^{たようか}多様化）

人々の生活のスタイルがいろいろとふえてきたことで、市町村へのねがいもふえています。

合併することにより、仕事のむだや不都合がなくなり、人々のいろいろな求めにこたえることができやすくなります。

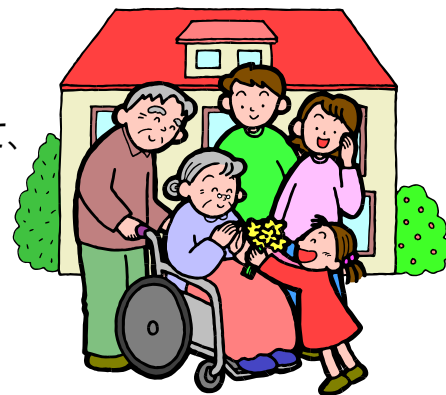
「^{たいあう}子どもの数がへりお年寄りがふえていく社会」に対応するため（^{しょうしこうれいか}少子高齢化）

今、日本全国で子どもの数がへって、お年寄りがふえているのは知っていますか？

これは私たちのこの地域も同じで、住んでいる人全体の数も少しずつへってきています。

これから、ますます住んでいる人が少なくなると、働くことができる若い人もへり、その少ない若い人たちによって、たくさんのお年寄りの世話をしていくことになります。

これを「少子高齢化社会（しょうしこうれいかしゃかい）」と言います。みんなが安心してらせる社会にするために、より多くの人々が協力しさをえ合っていく必要があります。



「私たちの生活はんいはの^{せいかつはんい}広がり」に合わせて（^{こういきか}生活範囲の^{くわく}広域化）

通きん・通学や買い物、レジャーなど、日ごろの私たちの生活では、住んでいる町やとなりの町といった区分を意識しなくなっています。

バランスの取れたまちづくりや、生活スタイルに合った行政サービスをしていくためには、私たちの生活するはんいに合わせて、市町村のはんいも広くしていく必要があります。

お金のことでこまらない市町村をつくるため

景気の悪いじょうたいが長く続いて、国も都道府県も市町村もぜい金が少なく、借金だけがどんどんふえ、大変なじょうきょうになっています。

そのため、市町村は、合併によってむだや不都合をなくそうとしているのです。また、合併することによって、国から多くの応えんを受けることができるようになります。そして、お金のことでこまらない強い市町村をつくろうとしているのです。



^{がっぺい}合併してどうなったの？

市役所と総合支所ができました

以前の伊勢市役所を新しい「伊勢市役所」としました。以前の二見町、小俣町、御園村の役場は、住民のみなさんがこまらないよう、しばらくの間は「総合支所」という名前で、ほぼこれまで通りのサービスを行っていきます。

議会の議員の数がかわります

以前の市町村の議員は、4市町村あわせて78人でした。合併の日（平成17年11月1日）から50日以内に、せんきょをして34人になります。

^{じゅうしょ}住所がかわりました

新しい市の名前が「伊勢市」に決まったので、以前の伊勢市に住んでいる人は何もかわりませんが、以前の二見町、小俣町、御園村に住んでいる人は、「伊勢市二見町」、「伊勢市小俣町」、「伊勢市御園町」に住所の表示が変わりました。

^{べんり}便利さがふえました

住民サービスのための窓口がふえ公民館や体育館・グラウンドなどの公共せつも利用できるところがふえてべんりになりました。イベントや行事などの楽しみもふえます。

くらしやすいまちづくりが^{あこな}行われます

合併すれば地域全体の様子を見ながら、計画的にせいびしていくことができるようになります。

^{かくしゅりょうきん}各種料金が変わります

しせつの使用料、保育料、給食費などの料金は、これまでそれぞれの市町村でいくらかを決めていましたが、合併して、同じ内容のものは同じ料金になりました。

そのため、住んでいる市町村によって、安くなるものもあれば高くなるものも出てきます。みなさんの負担が急にふえないよう、合併してもすぐには変わらないようにしているものもあります。

三重県における市町村合併に関する取組状況図

いなべ市【員弁郡北勢町、同郡員弁町、同郡大安町、同郡藤原町による新設合併】〔H15.12.1 合併〕

桑名市【桑名市、桑名郡多度町、同郡長島町による新設合併】〔H16.12.6 合併〕

亀山市【亀山市、鈴鹿郡関町による新設合併】〔H17.1.11 合併〕

四日市市【四日市市、三重郡楠町による編入合併】〔H17.2.7 合併〕

伊賀市【上野市、阿山郡伊賀町、同郡島ヶ原村、同郡阿山町、同郡大山田村、名賀郡青山町による新設合併】〔H16.11.1 合併〕

津市【津市、久居市、安芸郡河芸町、同郡芸濃町、同郡美里村、同郡安濃町、一志郡香良洲町、同郡一志町、同郡白山町、同郡美杉村による新設合併】〔H18.1.1 合併予定〕

松阪市【松阪市、一志郡嬉野町、同郡三雲町、飯南郡飯南町、同郡飯高町による新設合併】〔H17.1.1 合併〕

多気町【多気郡多気町、同郡勢和村による新設合併】〔H18.1.1 合併予定〕

大台町【多気郡大台町、同郡宮川村による新設合併】〔H18.1.10 合併予定〕

伊勢市【伊勢市、度会郡二見町、同郡小俣町、同郡御園村による新設合併】〔H17.11.1 合併予定〕

大紀町【度会郡大宮町、同郡紀勢町、同郡大内山村による新設合併】〔H17.2.14 合併〕

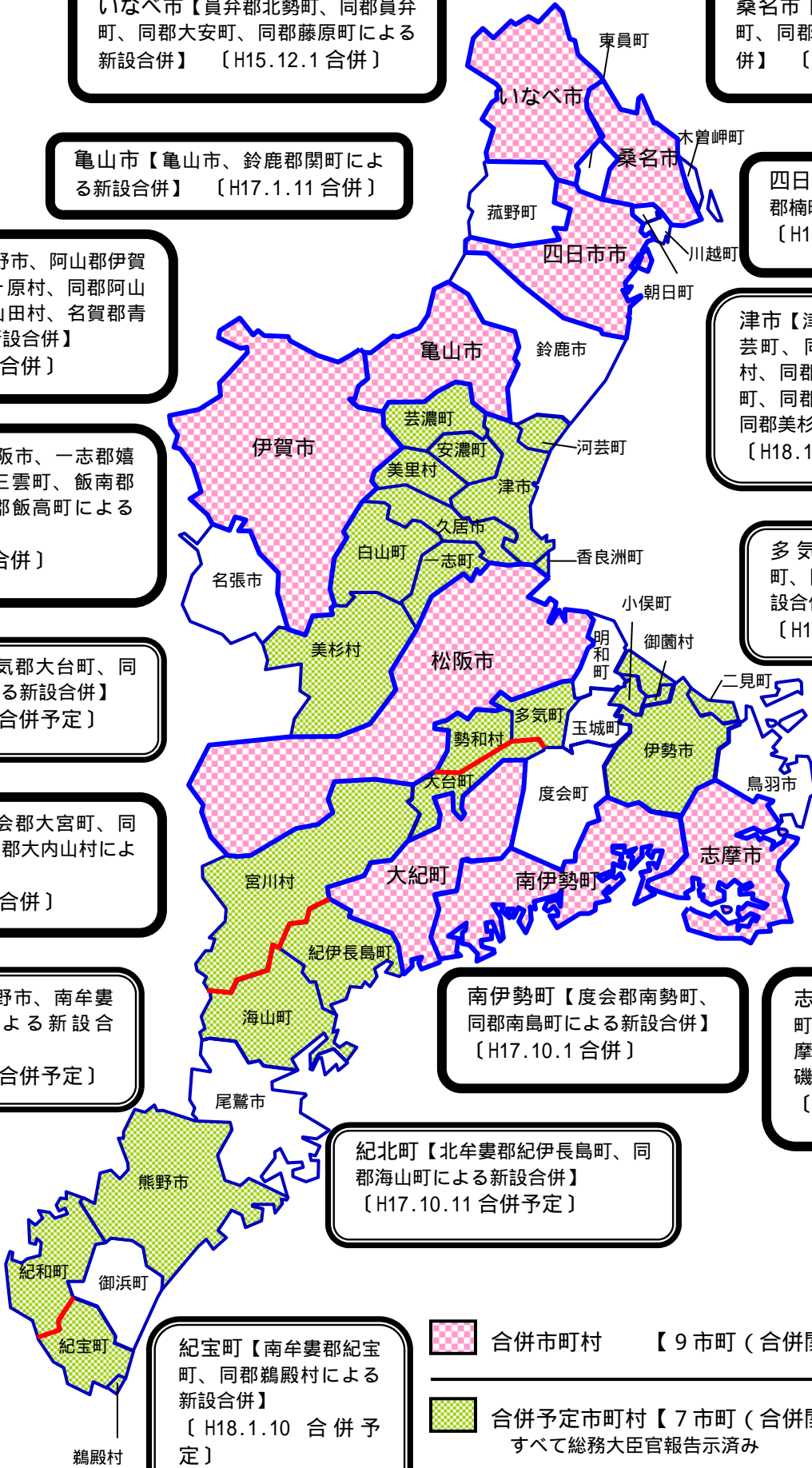
南伊勢町【度会郡南勢町、同郡南島町による新設合併】〔H17.10.1 合併〕

志摩市【志摩郡浜島町、同郡大王町、同郡志摩町、同郡阿児町、同郡磯部町による新設合併】〔H16.10.1 合併〕

熊野市【熊野市、南牟婁郡紀和町による新設合併】〔H17.11.1 合併予定〕

紀北町【北牟婁郡紀伊長島町、同郡海山町による新設合併】〔H17.10.11 合併予定〕

紀宝町【南牟婁郡紀宝町、同郡鵜殿村による新設合併】〔H18.1.10 合併予定〕



合併市町村 【9市町（合併関係 = 32市町村）】
 合併予定市町村【7市町（合併関係 = 24市町村）】
 すべて総務大臣官報告示済み

県内市町村数46市町村（H17.10.1現在）

4市町村の状況

区 分		伊勢市	二見町	小俣町	御薮村	全 体
人口（H17.3.31現在）		人 98,809	人 9,307	人 18,862	人 8,947	人 135,925
人口（H12国勢調査）		人 100,145	人 8,978	人 18,125	人 8,925	人 136,173
老年人口		人 21,411	人 1,698	人 2,970	人 1,502	人 27,581
高齢化率		% 21.38	% 18.91	% 16.39	% 16.83	% 20.25
夜間人口		人 100,065	人 8,978	人 18,125	人 8,925	人 136,093
昼間人口		人 103,067	人 6,638	人 16,658	人 8,848	人 135,211
面積（H11.10.1現在）		km ² 178.97	km ² 11.94	km ² 11.56	km ² 6.05	km ² 208.52
可住地面積（"）		km ² 72.76	km ² 6.77	km ² 11.47	km ² 5.94	km ² 96.94
可住地面積割合		% 40.7	% 56.7	% 99.2	% 98.2	% 46.5
産業構造 （H12国勢調査）	第一次産業	人 1,739	人 312	人 415	人 281	人 2,747
		% 3.6	% 6.7	% 4.4	% 6.1	% 4.1
	第二次産業	人 14,790	人 1,449	人 3,202	人 1,507	人 20,948
		% 30.3	% 31.3	% 34.1	% 32.6	% 31.1
	第三次産業	人 32,189	人 2,870	人 5,731	人 2,830	人 43,620
		% 65.9	% 62	% 61	% 61.2	% 64.7

4市町村の沿革

区分	沿 革
伊勢市	明治22年 市制・町村制施行により宇治と山田を合わせて「宇治山田町」誕生 明治39年 市制施行により「宇治山田市」に 昭和16年 度会郡神社町を合併 昭和18年 度会郡大湊町・宮本村・浜郷村を合併 昭和30年 市名を「伊勢市」に変更 度会郡豊浜村・北浜村・城田村・四郷村を合併 度会郡沼木村を合併 昭和32年 度会郡玉城町粟野地区を編入
二見町	明治22年 市制・町村制施行により「東二見村」と「西二見村」誕生 明治41年 東二見村と西二見村が合併して「二見町」に
小俣町	明治22年 市制・町村制施行により「小俣村」誕生 昭和3年 町制施行により「小俣町」に 昭和30年 有田村湯田・新村・井倉一部を編入 昭和32年 斎明村明星との境界変更
御薮村	明治22年 市制・町村制施行により「御薮村」誕生